

2015.10.09

中村和子

資料12-7 資料12-7-2 資料16-4 資料14-4
意見、質問

環境は、低騒音舗装や、遮熱性舗装、保水性舗装、また、植樹する事で緑被率を上昇させ、騒音を緩和、路面温度の抑制効果など、おこなうとあります。

交通は、カラーレーンの設置で交通事故の減少が可能という事です。

暮らしは、中央に緑地帯を配置し、さくら並木にして、お花見をしたり、また、遊歩道にし、コミュニティの場として活用出来るとなっています。そして、コミュニティや通学路が遮断されることの解決策として、信号機や横断歩道を設置するとしています。

しかし、長年住み続けてきた多くの住宅を立ち退きさせ、新たなコミュニティづくりなど想像が付きません。

東京都は、災害に強いまちづくりとして、物資輸送や延焼遮断のための広い道路が必要とあります。

現在、外環の2は、要検討路線となっており、優先整備路線にもなっていません。

災害は、いつ来るかわかりません。いつ完成するか気の遠くなるような外環の2の道路計画よりも、災害に強いまちづくりとして、現在ある道路の拡幅や整備することが最優先では、ないでしょうか。